実施方針に関する意見回答

No.	資料	項	項目	意見の内容	回答
1	実施方針	2	第1 特定事業の選定に関する事項 1 事業内容等に関する事項 (8) 事業実施のスケジュール	最優秀事業者との契約、結果公表が令和7年3月となっており、早くても令和7年4月からの着工が想定されており、またサービス開始予定が令和9年10月からとなっており、工期が長くても2年半程度しか取れていない。要求水準書を見ると、更新指定設備一覧には既設空調・電気設備のほとんどが改修対象となっており、病院という特性上、設備停止に制約のかかる中この工事期間は短い。	本事業の工事期間は、設備の工場制作期間として、最近の厳しい情勢も考慮し、6～12か月を想定するとともに、現場作業として、空調熱源の中間期施工、また、各室に及ぶ空調、照明器具等の居ながら改修を踏まえた必要な期間を計上しています。
2		2	第2 民間事業者の募集及び選定方法 2 事業者の募集及び選定スケジュール	実施方針に関する意見の受付から、特定事業の選定結果の公表までが約2週間となっており、意見書によって実施方針等の修正が行えるか疑問である。参加表明の受付から提案要請期間、提案要請後の現場ウォークスルー調査、提案書の受付期間までも短期間で計画されており、現在設置されている設備等、既存設備を把握している業者に優位に働くため公平性に欠ける。	実施方針は、PFI法に基づく手続きとして、公平性及び透明性を確保する観点から、提案募集に先立って公表しているものです。 また、本事業では、より公平性等を高め、また、応募者の準備期間が少しでも確保できるよう、実施方針に併せて「要求水準書」を任意に公表しています。 しかしながら、この度の御意見を踏まえ、提案書募集要項配布から提案書受付までの手続きのうち、現場ウォークスルー調査を11月下旬から12月上旬に、また、提案書受付を12月下旬から1月上旬に延長する実施方針の修正を行います。
3				広島市民病院規模の大型施設で現場ウォークスルーは複数日数必要となる事が想定され、ウォークスルー調査開始から提案書の受付までの期間が非常に短い。	
4				実施方針の公表から特定事業の選定結果の公表までの時間が短い。また、特定事業の選定結果の公表から募集要項配布までの期間が短い。 参加表明書及び資格確認書類の受付から現場ウォークスルー調査を経て提案書の受付までが約1ヶ月と短く、提案内容を十分に精査することが難しい。	
5		-	その他	一般的に広島市民病院等の大規模施設でのESCO事業の際には、事前にフィジティビリティスタディ(実現可能性調査)を行い、実施の可否が判断され、その後ESCO事業者の公募という手順で進められるが、今回フィジティビリティスタディ(実現可能性調査)は実施されたのか。 実施済みであれば実施した民間企業の本PFI事業への参加は可能となっているのか。事業開始までのスケジュールが非常に短い事から、フィジティビリティスタディ(実現可能性調査)を行った民間企業の参加が可能であれば、提案時間に優位に働く可能性があり公平性に欠ける。また、フィジティビリティスタディ(実現可能性調査)を実施していないのであれば、なぜその手法を取り入れていないのか。	本ESCO事業は、PFI法に基づき推進しています。PFI事業としての導入可能性調査については、国のガイドラインに基づき、機構自らがVFM(Value For Money)評価を行い、事業の実現可能性や採算性などを確認しています。 なお、他の大規模な病院施設のESCO事業の状況も参考に推進しています。